



2026年1月14日

各 位

会社名 サインポスト株式会社
代表者名 代表取締役社長 蒲原寧
(コード番号: 3996 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 西島雄一
(TEL. 03-5652-6031)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年4月14日に公表した2026年2月期(2025年3月1日～2026年2月28日)の通期の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年2月期通期の業績予想値の修正(2025年3月1日～2026年2月28日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A) (2025年4月14日公表)	3,400	220	212	249	19.51
今回修正予想(B)	3,100	70	55	85	6.64
増減額(B-A)	△300	△150	△157	△164	
増減率(%)	△8.8	△68.2	△74.1	△65.9	
(ご参考)前期実績 (2025年2月期)	3,023	200	197	257	20.11

2. 業績予想の修正理由

コンサルティング事業においては、第1四半期会計期間に大型プロジェクト中止による影響がありました。第2四半期会計期間以降、営業活動の強化、単価見直し及び中途採用の拡充等により採算性の高い新規プロジェクトの受注及び既存プロジェクトの増員に取り組んでまいりました。その結果、下期から月次売上高が大幅に改善しているものの、上期の減収影響を吸収するには至りませんでした。イノベーション事業においては、EC事業者の出荷工程のボトルネックを解消するツール「Global GO! Smooth EC」が導入企業から高い評価を得ているものの、ターゲットとする中小事業者等及び関係先に対する営業・広報活動の展開は限定的に留まりました。DX・地方共創事業においては、地域銀行を通じて提供する「DX宣言書作成支援」の受注が堅調に推移し、当該サービスについては複数の地域銀行から高い関心が寄せられています。一方で、DX化推進を支援する伴走支援サービスの受注は計画を下回りました。これらの結果、売上高は期初計画に比べて各事業それぞれ230百万円、50百万円、18百万円減少する見込みです。

費用面では、営業活動や経営企画部に関する人件費の増加、並びにSmooth EC及び生成AIツールの開発に係るコストの増加を主因に、販売費及び一般管理費が計画に比べて60百万円増加する見込みです。

これらの結果、減収に伴う売上総利益の減少と販売費及び一般管理費の増加により、営業利益及び経常利益の見通しを修正することといたしました。

当社は今般の下方修正を重く受け止め、成長軌道への早期回帰を経営の最優先課題と位置づけております。今後、速やかに、事業ポートフォリオの抜本的見直し及び重点領域への経営資源の集中を実施してまいります。

以上

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。